

# 令和元年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

当園ではこの度、令和元年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

身体も心ものびのびと過ごせる、情操と知育を総合させた教育を目指しています。  
きちんとした価値観やモラル心を身につけること。それが心身を健やかに成長させ、子どもの未来を創る原動力となります。

保育をする上では、「徳育、知育、体育、国際化（英語教育）」の4つの理念を大切に、その中で息づく「こころ」を育てる教育を実践しております。

きちんとしたモラルの心を身につけ、親孝行で将来社会の役に立つ人として育てていくよう、教諭、講師、職員で力をあわせ、お子様たちの保育をすすめてまいります。

## II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上
- 教職員間の連携強化
- 安全管理体制の充実
- 園全体の発展

## III. 自己評価項目と取り組み状況

自己評価項目		取組み内容	
1	教職員の資質向上	B	児童の性格や他児童との関係性を考慮して席決めを行っている。玉井式にむけて自分でプリントの内容を考え文字指導に取り組んだ。相談員に診てもらいながら児童の保育に取り組んだ。事前準備を行い児童の反応を見つつ他の先生から情報を得るようにした。絵画や壁面制作では児童からの案を取り入れ児童の主体性を大切に。児童自ら考えて行動する力をつけてもらえるように工夫した。作品を作る時は事前に見本をつくりイメージしやすいようにした。情報交換を多くすることで児童のペースに合わせた課題を与えることができた。クラスでの決め事を全員で守れるよう努めた。
2	教職員間の連携強化	B	インフルエンザなどの病気に関する状況を朝礼や終礼で共有している。朝礼や終礼の内容をノート・ホワイトボードに残し共有している。各学年で情報を確認し補うようにした。発表の声が小さい。発表者の声のスピードが早かったり小さかったりする。他のクラスの状況を共有し意見交換できた。

# 令和元年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

自己評価項目		取組み内容	
3	安全管理体制の充実	避難訓練の回数やその方法・設定について再度検討する。	B 自然災害や不審者を想定した避難訓練を行った。各月で1回ずつ一通り経験できた。児童に対して予告が無い訓練を行った。常に児童がどこにいるかを把握している様に努めている。色々なケースに応じて環境設定（椅子、机の位置等）を変え対応できるようにした。
	安全管理体制の充実	子どもたちが安全に遊具を利用できる環境を整えるために、遊具の確認を定例化して行う。	B 動物が遊具を汚さないように毎日シートを敷き、定期的に消毒している。毎朝の当番時に遊具の確認を行っている。壊れた玩具を取り除くようにしている。遊具の手すりや滑り台のネジの部分など点検を行っている。
4	園全体の発展	園全体の発展につなげるため、保護者アンケートの意見を共有し、自らはどのように感じ考えましたか？	B 多くの保護者が児童の成長を感じてくれた。英語とプールは成長に個人差がある。挨拶ができるようになってきたという意見が多い。英語は自分自身も理解してから児童に伝えるようにしている。水泳や体操も楽しい雰囲気を保つように褒めたり笑いかけたりすることを心掛けている。今年は前向きな意見が多くみられた。

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

## IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	児童に注意することがあればできるだけ事前に予防しほめることを増やすようにしたい。個人差を考慮した指導の取り組みが必要。相談員の方などに診て頂く機会を増やしたい。保護者への説明は言葉を選び慎重に行う必要がある。児童同士考える機会を増やしていきたい。クラスごとではなく園全体で保育するという意識を持つことが必要。行事の内容を見直すべき。
2	教職員間の連携強化	ノートに書けなかった情報を全員で共有できるようにしなければならない。情報に抜け漏れがないようにしたい。情報に漏れが多いので自由に書き写せるよう週末ミーティング等をしてほしい。
3	安全管理体制の充実	事前に児童に内容を伝えパニックにならないようにする。児童が防災頭巾をかぶりやすいようにする。実際の時を想定するとトイレは必ず確認したほうが良いと思う。防災の意識は日ごろから持つことが大切なのでよく話題にするようにしたい。例えば外遊び中に訓練を設定する等も良いと思う。一度担任にも予告無しで行う。体操やプール中に行うことも必要です。
	安全管理体制の充実	壊れている遊具を修理する必要がある。
4	園全体の発展	英語は学期ごとに曲を決めて給食時や自由遊び時などに口ずさむくらいに歌えば習得しやすいかもしれない。プールは安全面を考慮する必要があるが飛込や滑り台など他にアイデアがあれば良い。シールやスタンプなど児童を認めてあげる工夫をすることによりプールに対して積極性を持たせてあげたい。児童がどう感じているか会話を重ねて情報を得るようにしたい。プールが苦手な児童がまだ多いため楽しんでもらえるよう工夫する必要がある。家庭での状況も知るようにする。保護者の声をもっと聴くにはアンケートの項目を変えても良いと思う。いい事しか聴けていない。恥ずかしがりの性格の子にも褒めて自信をつけさせることで挨拶をできるようにさせたい。

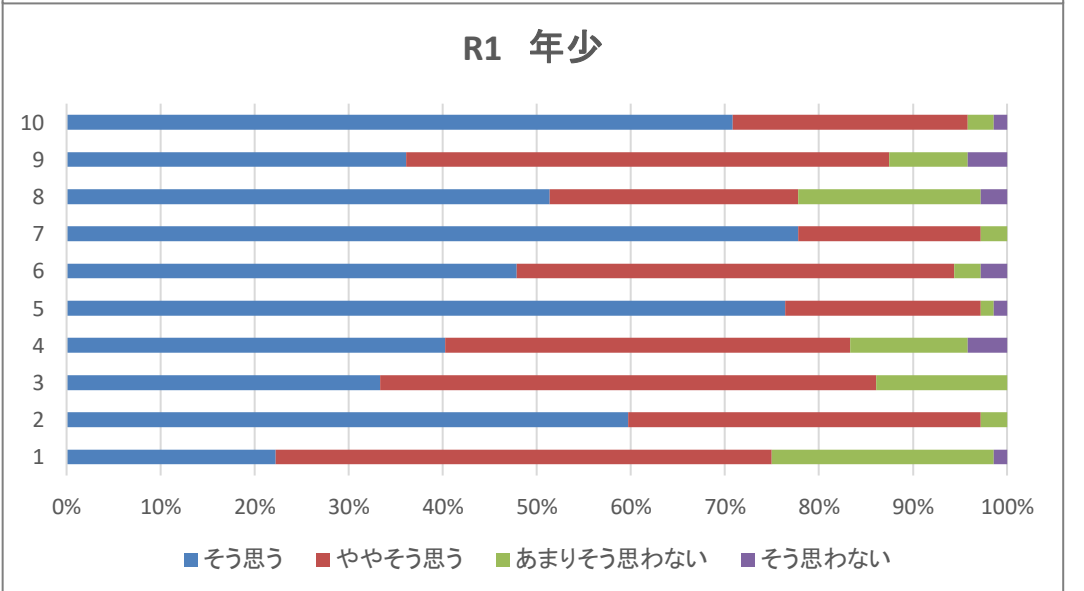
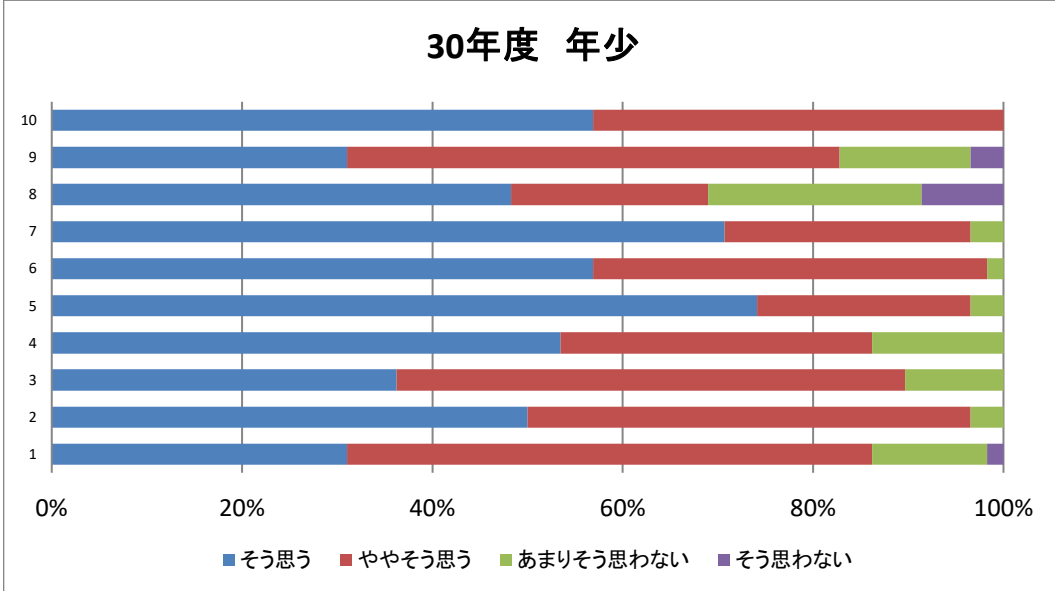
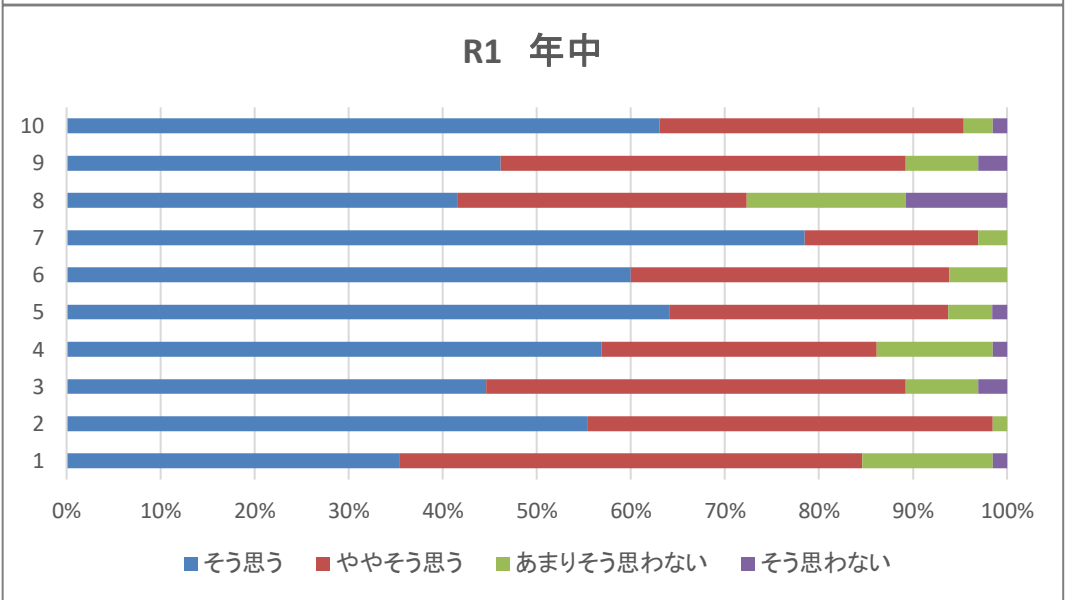
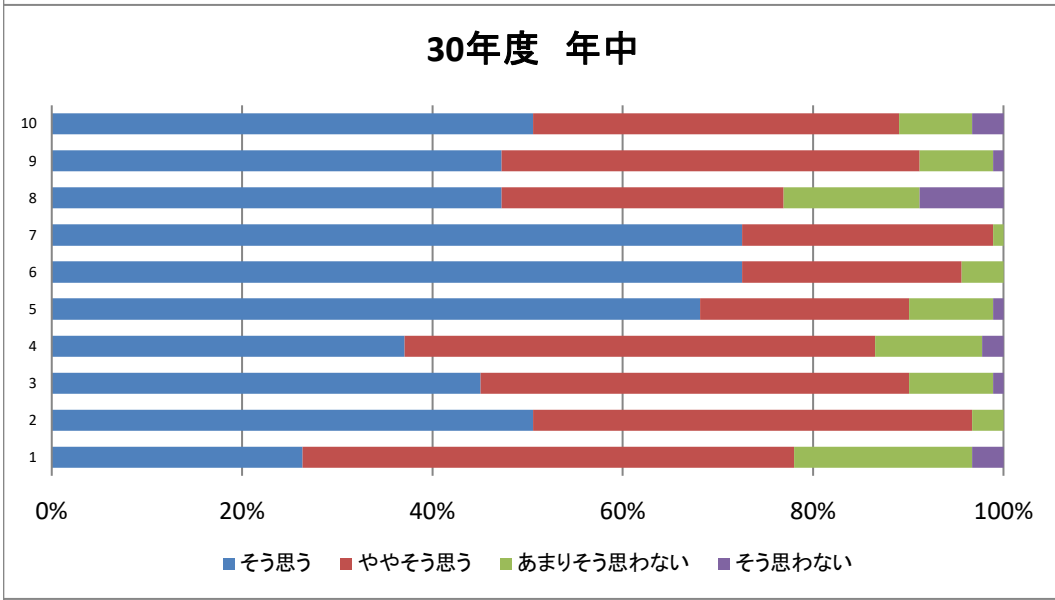
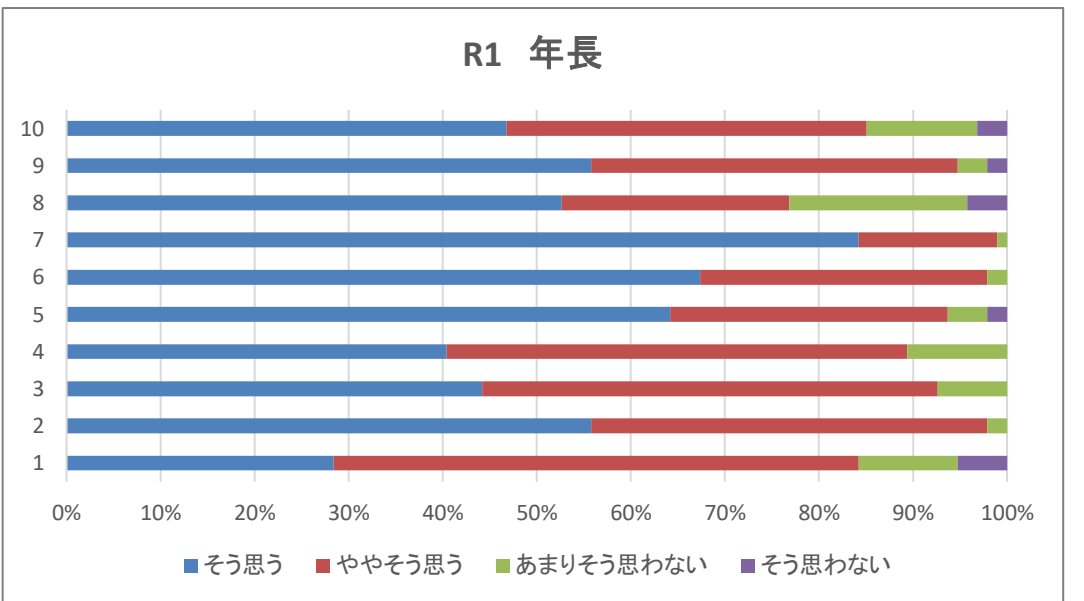
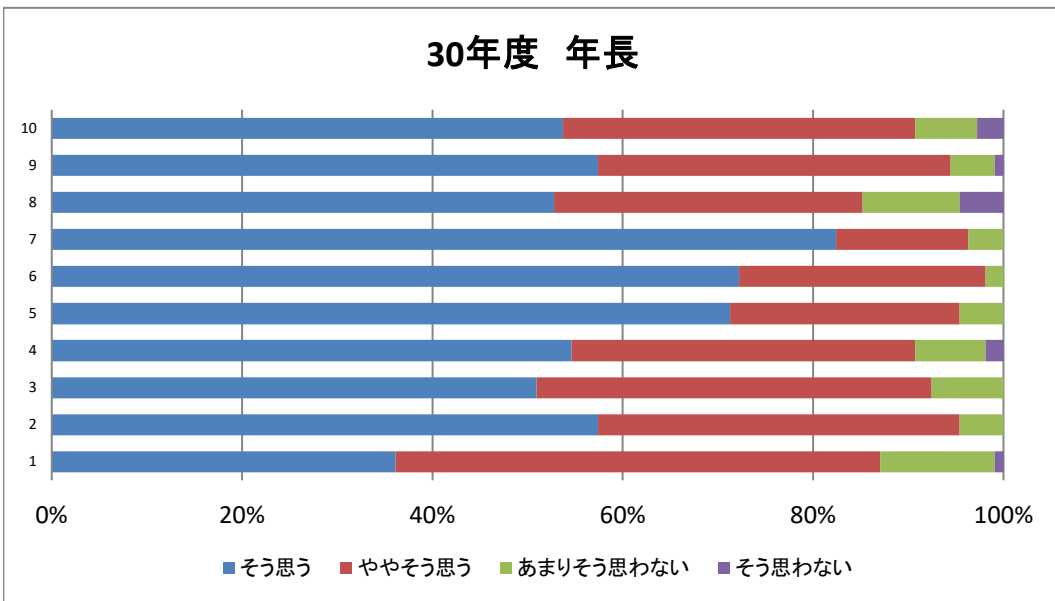
# 令和元年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

## V. 保護者アンケートの結果

### ■アンケートの集計結果

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5
お子さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？(ありがとうの言葉など)	お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お子さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？	お子さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？	お子さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらおうという姿勢が見られますか？
質問6	質問7	質問8	質問9	質問10
お子さんは、集団生活の基本(順番を守るなど)がきちんとできていますか？	お子さんは、体育活動(跳び箱、縄跳び、鉄棒、一輪車、ボールなど)を楽しみにしていますか？	お子さんは、プール活動を楽しみにしていますか？	お子さんは、体育活動やプール活動を通じて、体が丈夫になったと思いますか？	お子さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？



# 令和元年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

## ■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)

### ◇項目1

毎年同様の傾向が見られます。新旧の過程で、挨拶や感謝の気持ちを自分から言葉に出す習慣が徐々に見に付きつつあると思われる。一人では恥ずかしさや戸惑いを感じながらもお友達と一緒に皆元気に明るく挨拶しています。繰り返し継続することで自然と身に付くかと思えます。幼稚園ではお友達や先生だけでなく、来客や近隣の方への挨拶の指導もしています。ご家庭でも今後もさらにお子様の積極性を引き出せるよう共に指導の徹底をお願いしたいと思います。

### ◇項目2

殆どの方がお子様の感受性の豊かさを感じられているようです。大人では見過ごしがちな何気ない事に興味を持ち、美しい楽しいと感じ、何気ないことに驚きや悲しみを感じます。特にこの年代のお子様の感受性の豊かさは非常に大切で、これからもご家庭での日常と園生活の中で感性を育ていけるよう見守っていききたいと思います。

### ◇項目3

全体に身に尽きつつあると感じられているようです。お子さんの性格差、学年差はありますが、幼稚園では子供の視線を引き付ける変化や工夫もおりませながら相手の目を見て話す、聞く指導を今後も徹底していききたいと思います。ご家庭でも会話の際、お子さんの目を見て話し、目を見て聞く意識をもって繰り返しコミュニケーションをとっていただければと思います。

### ◇項目4

なかなか目に見えた進捗は感じられませんが、ご家庭でも適度な役割を与えるのも一つかと思えます。幼稚園では、先生のお手伝いやお当番を通して、与えられた責任を果たすことで、やりがい、ほめられ感謝される喜びが体感できるように指導しています。家庭でもお手伝いをしてもらい機会を多くし、感謝の気持ちを十分に伝えていただくことで、人に喜んでもらい必要とされているとお子さんが感じられる機会が増えればさらに積極的な行動につながるかと思えます。

### ◇項目5

昨今の興味の対象が多い中、全学年で絵本に触れ合う高い意識が感じられます。テレビ等の映像ではなかなか得られない想像力、新たな知識や興味そして感受性等を培っていただければと願っています。当園子供文庫の3千数百冊に及ぶ蔵書に触れ合う機会を今後もできるだけ多くし、さらに、蔵書内容の吟味、充実を図っていきたくと考えます。

### ◇項目6

全学年とも集団生活の中で基本ルールを守る大切さが見につくつつあると思えます。ご家庭で、園での指導の賜物かと思われ。ほんの少しの妥協が全体の集団生活を乱すこともあり得ますので、今後とも園でも家庭でも徹底した指導が必要と考えています。

### ◇項目7

全学年で非常に高い結果が得られています。園目標の柱の一つである体育を通しての体力づくり、一輪車や鉄棒など目標に向かって繰り返し努力する子供本来の活動に動き回る姿がうれしく思えます。その過程での先生との一体感、お友達との競争、協力、そして達成する喜びを子供たちに感じてもらえる指導を今後も実践していきます。

### ◇項目8

プール活動を楽しみにしているが全体の80%前後との回答です。プール活動は夏冬関係なく一年を通してあり個々によっては目や耳に水が入り、呼吸がしにくいなどの恐怖感があると思われ。新旧の基準も明確で、達成感が感じられるよりも、思うように結果がでないことも一つの要因かと思えます。今後とも体育活動とプールが楽しみになるよう、さらに挑戦意欲が継続できるよう工夫していきたく考えています。

### ◇項目9

特に年長で高い数値が得られ実感されているようです。3年間の体育、プール活動を通じての結果、体が丈夫になったと感じていただきたうれしく思えます。年少、年中は今後継続することで進級とともにきっと実感して頂けると確信しています。

### ◇項目10

特に年少、年中で英語学習に興味を感じられます。初めての幼稚園生活で、週2回の英語レッスンでの歌や手遊び、ゲーム等を通じてネイティブ英語に触れることが新鮮であったと思われ。年長は少し高度になりアルファベットを書く取り組みと自分の名前もローマ字で書けるなど、英語ノートを取り入れたことで、興味と戸惑いがあると思われ。今後も楽しく学べる工夫をさらに心掛けていきたく思えます。

## VI. 学校関係者の評価

園の教育目標に基づき、保護者にアンケートを取ったなかで、全ての項目において高い評価を得られたことは先生方の子供達への思いやり、保育力の高さだと思えます。昨年度の「教職員の資質向上」が「C」から「B」に上がっているのも、先生方の保育に対してのやりがいを感じているところかなと思えます。体育はもちろん、英語、プール、音楽、などの外部講師がつく授業でも、内容を理解して子供達に寄り添い保育を行う先生方の姿はとても勉強になります。体育指導者として、子供達や先生方と関わらせて頂いておりますが、子供達の気持ちのいい挨拶と目を見て話を聞く姿勢は、体育指導に取り組みやすいです。子供達それぞれの個性を担当の先生だけでなく学年全体で共有して下さっているのも、クラス問わず一人一人が良いところをしっかりと伸ばしていると思えました。園内にいると大きな声ではっきりと挨拶してくれるので、とても気持ちが良いです。先生方が、日々しっかりと様々な方面での教育をして下さっているお陰だと思えます。とても感謝しております。

以上